

# ふじっこ

～地域で子どもを育てる子ども会～

夢と希望を乗せて！

## 熱気球体験教室

令和7年8月19日（火）@藤枝小学校グラウンド

青い空を背に、色鮮やかな熱気球がゆっくりと高度を上げ、いつも見ている景色がジオラマのように小さくなっていく様子は圧巻でした！

# 親子写生大会

令和7年4月29日（火・祝日）@蓮華寺池公園

親子写生大会は家族そろって楽しく絵を描くことで、美術への興味・関心や親子・家族のつながりを深め、子どもの健全育成に資することを目的に開催しています。当日は好天に恵まれ市内子ども会から多くの家族連れが参加、166点の作品が提出されました。参加された皆さんはこいのぼりやとんがりぼうなど思い思いの絵を描き、楽しい時間を過ごしました。



## 会場の様子



市長賞

「蓮華寺池のこいのぼり」  
藤田 雛羽（青島東小2年）



教育長賞

「てんこもり蓮華寺池公園」  
海野 まど佳（青島東小5年）

親子写生大会特別賞

## 表彰式

令和7年7月25日（金）  
@生涯学習センター



大きな拍手の中、少し緊張しながらも堂々と賞状を受け取る受賞者の皆さん。うれしさと達成感から光り輝く笑顔が満ちあふれ、温かな雰囲気にも包まれた表彰式となりました。



# 第4回 子ども会議

令和7年8月9日（土）@生涯学習センター

ジュニアリーダーと小学2年生から6年生の21人が参加しました。アイスブレイクではジュニアリーダーの提案で、みんなが仲良くなれる遊びをしました。笑い声とともに心の壁が消え、いつの間にか他校の友だちとも楽しくお話ができ、自分たちの地域の未来、胸に秘めた将来の夢について語り合い、会議室は熱気と希望であふれていました。



## 親子食育講座

令和7年8月20日（水）@生涯学習センター

保健センターの管理栄養士さんが、地産地消や栄養に関するお話と調理の指導をしてくれました。身体をつくる「食事」の大切さを学び、日々の生活の中で地産地消を意識する機会になりました。  
「自分で作るごはんって美味しいな！」



第33回

# 子ども会フェスティバル

令和7年10月26日(日) @生涯学習センター

秋の柔らかな日差しに包まれた会場は、朝から子どもたちの元気な声と熱気に満ちあふれました。当日は家族連れなど約800人が来場し、各コーナーを楽しみました。講師や社会福祉協議会、消防団などの地域の方、子ども会世話人の皆様のご協力により会場は大盛況となりました。



おやこ食育  
料理教室



バルーン  
アート



陶芸体験



射的



救急体験



らくがき  
せんべい



チャレンジ  
コーナー





# 子ども会 活動発表会



令和8年1月25日（日）@生涯学習センター

1年間の活動成果を報告する活動発表会を開催しました。  
市内5団体の子どもたちがパワーポイントなどを使い、趣向を凝らした発表を行いました。  
その後、市子連副会長である河合校長先生から、それぞれの発表に対する講評や子どもたちがステージで上手に発表できたことへのお褒めの言葉がありました。

## 青南町子ども会 (青島小学校)



親子で茶摘み体験  
～その茶葉で緑茶づくりと緑茶料理に挑戦～  
(食育普及事業)

活動日 : 令和7年9月28日(日)  
活動場所 : 牧之原、青島南地区交流センター  
活動内容 : 午前中はグリンピア牧之原でお茶摘み体験と、製茶工場・展示品見学をしました。午後は地区交流センターでお茶に関する栄養講座を受けたあと、緑茶づくりと緑茶を使った調理体験を行いました。



## 田沼南子ども会 (青島東小学校)



熱気球体験教室  
(チャレンジ冒険遊び事業)

活動日 : 令和7年8月1日(金)  
活動場所 : 青島東小学校グラウンド  
活動内容 : 高さ20メートルに上昇した熱気球から校舎や景色を見るドキドキ体験と、熱気球の歴史や仕組みを学びました。新しいことをチャレンジする心や仲間と協力することの大切さ、楽しさを知り、夏休みの楽しい思い出ができました。



## 葉梨小学校区 子ども会



## 熱中症予防とAED体験 (安全・安心普及事業)

活動日 : 令和7年11月22日(土)  
活動場所 : 葉梨地区交流センター  
活動内容 : 女性消防団から熱中症のメカニズムと注意点、予防方法を学びました。その後、心臓マッサージとAEDの操作方法を学び、心肺蘇生法の一連の流れを体験しました。AED体験を通じて周囲の人と協力することの大切さを感じました。



発表者体調不良により事務局が代理発表しました。



## 高洲小学校区 子ども会



## 夏休みキャンプ体験 (チャレンジ冒険遊び事業)

活動日 : 令和7年8月20日(水)～21日(木)  
活動場所 : 瀬戸谷地区市之瀬  
活動内容 : 1日目はナイフを利用し火起こしをするブッシュクラフト体験とキャンプファイヤー、夜はナイトウォークをしました。2日目は瀬戸川の渓流で飛び込み体験をしました。瀬戸谷の豊かな自然をたっぷり感じた2日間でした。



## 青島北小学校区 子ども会



## 地域の食材を学び親子で楽しくクッキング (食育普及事業)

活動日 : 令和7年7月31日(木)  
活動場所 : 生涯学習センター  
活動内容 : 保健センターの食育講座(出前講座)を受講しました。身近な道具と地元食材を使い災害時でも出来る方法で調理体験をしました。被災時の栄養の大切さ、地元食材とその生産者や日々の食事を用意してくれる家族への感謝の心を学びました。



# 静岡県子ども会連合会 会長賞受賞

令和7年度静岡県子ども会連合会主催活動に参加した多数の子どもたちが、体験記作文コンクールに応募しました。その中から、青南町子ども会の2人が静岡県子ども会連合会会長賞に選ばれましたので紹介します。



## 「初めての茶つみ体験」

おおつか たかお  
大塚 貴雄 (青南町子ども会 青島小6年)

ぼくは、グランピア牧之原で茶つみ体験をしました。初めてだったので、うまくできるかちょっと心配だったけど、やってみたら意外と簡単で、とても楽しかったです。茶葉をつんだ後は、緑茶と天ぷらなどを作りました。つんでいるときはあまりにおいがかかったけど、茶葉をもむときにお茶のいいにおいがしてきて、「あっ、お茶の香りだ」と思いました。静岡県に住んでいるのに、今まで茶つみをしたことがなかったので、今回の体験で「ぼくもちゃんと静岡県民になれたな」と思いました。家に帰ったら、自分でつんだ茶葉でいれたお茶を家族に飲んでもらいました。みんなが「おいしい!」と言ってくれたので、すごくうれしかったです。いつも飲んでいる緑茶だけど、たくさんの工程があって、多くの人の手がかかっていることを知りました。子ども会の友だちともたくさん話して、前よりもっと仲良くなれました。友だちと茶葉を見せ合ったり、つんだ茶葉ではないけど、まっ茶を使ったケーキなどを作って食べたりして楽しい1日でした。

そして、この体験を準備してくれた子ども会のお父さんやお母さんたちにも感謝しています。もし、県外や外国の友だちができたなら、この茶つみ体験の事を話して、静岡のお茶のすばらしさを伝えたいです。またこんな体験があったら、ぜひ行ってみたいと思いました。



## 「楽しかったお茶摘み体験」

いしべ ゆうま  
石部 佑磨 (青南町子ども会 青島小6年)

みなさんは静岡の名産であるお茶についてどれだけ知っていますか。静岡茶は日本三大銘茶のひとつです。そんなお茶ですが、身近にありすぎてぼくはあまりお茶を気にした事はありませんでした。

今回、静岡県子ども会連合会の食育事業でお茶摘み体験と、茶葉を使った料理作りを行いました。

お茶摘みは、9月28日に行い、お茶のシーズンとしては四番茶にあたります。いつも遠くからながめている茶畑を歩いてみると、ふかふかしておもしろかったです。お茶の木の間に入りながら、いざ茶摘みです。通路はとても狭く、半ズボンで行ったぼくはちくちく当たる葉や枝ががまん出来ず、すみの方で茶葉を摘みました。お茶は芽の部分とそこから2、3枚葉をつけたところで収穫します。お茶の茎はやわらかく、ぶちっと摘む感覚がくせになり、夢中で摘んでいました。摘んだ茶葉を使い、みんなでお茶作りと天ぷら作りチャレンジしました。茶葉は葉を加熱して香りを出す殺青(さっせい)、手でもむ揉捻(じゅうねん)、火を入れて乾かす乾燥(かんそう)の工程から出来ます。フライパンに生葉を入れ弱火で温めるとお茶のいい香りがしてきました。葉がしっとりしたら、手でもみます。両手ではさんでもむと少しねばねばした感触になります。1度水分を飛ばすために火にかけます。この工程を何回くり返してお茶が出来上がりました。乾燥させるときに電子レンジを使うと早く出来たけど、フライパンの方がゆっくり水分が飛ぶので、葉がぼろぼろにならないで作れました。自分で作った茶葉は、苦味が少なく香りのよいお茶になりました。茶葉の天ぷらはサクサクしてお茶の香りがほわりとしてとてもおいしかったです。

自分からは絶対やらない体験をみんなと出来て、とても楽しかったです。またみんなと色々な体験をしてみたいと思う1日でした。

# ～令和7年度 藤枝市子ども会世話人連絡会より～

## 進化する子ども会

会長 村田 政之

今年度の最後の行事である子ども会活動発表会では大成功を取ることができました。前日のリハーサルでは、ほとんどの子どもたちが壇上に上がるのは初めてでみんな不安そうでしたが、本番ではすべての子どもたちが完璧に発表してくれました。この日の経験は、子どもたちの今後の人生において大きな自信となることでしょう。また、体験を基に応募していただいた静岡県子連活動体験作文コンクールにおいて、青島小学校青南町子ども会の石部さんと大塚さんの二名が県子連会長賞受賞という名誉に輝きました。このことはご本人及びご家族にとって大きな喜びだと思いますが、子ども会の活性化にも大きく寄与してくれたと思います。子ども会が目指している子どもの手による子ども会活動、そして子ども会の意義と役割、その重要性を改めて認識した1年でもありました。

更に今年度は、念願の藤枝市ジュニアリーダーの活動が始まりました。今後ジュニアリーダーと子どもたちの歯車が噛み合ったとき、まさに学校や地域では味わえない体験を通じて達成感、自己肯定感やコミュニケーション能力の向上に驚きをもって気が付くはずですよ。現在絶賛募集中ですので中高生の皆さん、一歩前へ踏み出す勇氣をお待ちしております。こうした子ども会活動を支えていただいている理事や世話人の皆様、そして関係団体の皆様のご協力やご支援がなければ子ども会活動は機能しないと言っても過言ではありません。心から感謝を申し上げます。最後に私の好きな言葉です。「楽しいから動くのではなく、動くから楽しい!!」

## 第33回子ども会フェスティバルの成功を振り返って

副会長 河合 淳  
(藤岡小学校長)

10月26日(日)に開催された「子ども会フェスティバル」には、多くのご家族にご来場いただき、盛況のうちに無事終了することができました。私もチャレンジコーナーを担当しましたが、射的、ゴム鉄砲、バットゴルフ、バルーンアートなど、各コーナーから響く子どもたちの歓声やキラキラした笑顔が今も心に残っています。子ども会フェスティバルの成功は、ひとえに、各子ども会の理事・協力員の皆様をはじめ、体験コーナー・チャレンジコーナーを担当してくださった講師の方々、そして会場準備や計画運営にご尽力くださった事務局、生涯学習センター職員のご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

近年、スマートフォンや携帯ゲーム機の普及により、子どもたちの遊び方は大きく変化し、家庭内での親子の触れ合いの機会も減少傾向にあると言われています。そんな中で、フェスティバル当日、来場した子どもたちが、友達や家族と一緒に体を動かし、五感を使って様々な体験に挑戦する姿がとても印象的でした。目を輝かせながら夢中で取り組む様子に、遊びの中で育まれる学びや成長の大切さを改めて感じました。このような家族で楽しめるおまつりを33年間にわたり継続してきた藤枝市子ども会の取り組みは、地域における貴重な役割を果たしていると感じています。

今後も地域の子供たちが健やかに成長できる環境づくりと、親子の絆を深め、地域のつながりを育む場としての「子ども会」を、皆様とともに支えていきたいと思っております。今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 市子連理事の皆様



thank you  
so much

各地区の代表として  
1年間ご協力いただき  
ありがとうございました!

発行者/藤枝市子ども会世話人連絡会  
〒426-0023藤枝市茶町1-5-5 (生涯学習センター内)  
電話054-643-3047